

ArC株式会社

小池大士

代表取締役



04-7193-8992

arc-biz.jp

千葉県流山市南流山7-5-4
ブルミエールA101

ビジョン

『ケアからLIFEへ』
～住み慣れた我が家で、最期まで自分らしく。
医療・介護・生活支援を統合し、在宅での幸せな人生を実現します～

介護は制度だけでは支えきれない――。

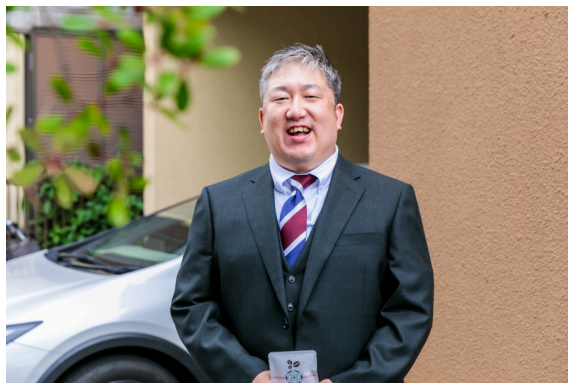
高校生の頃に介護の世界に触れて以来、現場での経験を重ね、ケアマネジャーとして居宅介護支援事業所を立ち上げてきた代表・小池大士の想いには、そんな実感があります。利用者一人ひとりの暮らしに寄り添う「生活支援」の重要性、制度の狭間で生じる課題、そして地域全体で支える介護のかたち。葛飾区・松戸市・流山市を中心に、複合型介護サービスを展開するArC株式会社の取り組みを通じて、これからの介護とケアマネの役割、地域介護の未来をお伝えします(2025年12月取材)。

高校生から介護の世界へ | ケアマネを志した原点

介護の道へ進んだきっかけを教えてください

介護の道を意識したのは、中学生の頃に祖母がくも膜下出血で倒れ、転院を重ねる生活の中で痰吸引やおむつ交換を家族と共に経験したことがきっかけです。高校生になる頃には祖母は寝たきりとなり、在宅介護に切り替わったことで、訪問スタッフの仕事ぶりを間近で見て介護職への興味が強まりました。進路選択では介護系大学も検討しましたが、遠方で費用負担も大きいため断念。2～3年で資格取得でき、早く現場に出られる専門学校に魅力を感じ、通学しやすい江戸川大学総合福祉専門学校に学校推薦で進学しました。

在学中は介護福祉科で幅広い福祉分野を学び、積極的に実習にも参加。現場の良い面だけでなく課題にも触れた経験は、介護に向き合う姿勢の基盤となりました。



介護現場で見た課題と生活支援の重要性

大学卒業後はどのような職場に就職されたのでしょうか？

専門学校で社会福祉主事任用資格を取得し、2000年に学校推薦の方を差し置いてというハプニング枠で介護老人保健施設へ就職しました。介護保険制度が始まったばかりで現場は手探り状態。働く中でキャリアアップの道が整っていないことを感じ、「専門性を高めたい」という思いが強まりました。民間介護企業が増え始めた時期でもあり転職を試みましたが、業界が過渡期で採用が不安定。ある企業から「大手の方が良い」と助言を受け、転職が進まないのは自身の問題ではなく業界の成熟度だと気づきました。その後活動を続け、関東進出を始めた九州の介護系企業への転職が決まりました。

転職先ではどのようなキャリアを積まれたのですか？

転職後は生活相談員と介護職を兼務しつつ、売上管理や運営などにも携わり、事業運営を現場で学びました。さらに上場準備にも関わり、組織運営の理解と資格取得を通じてスキルを広げることができました。

一方、優秀な後輩が独立していく姿を見て、自身も挑戦したい思いが芽生え、役職を降りて働き方を見直す期間に入りました。2015年、紹介された職場で働き始めましたが、ルールや書類管理が整っていない状況に戸惑いながらも、半年後に社長から正式に誘われ、居宅介護支援や訪問介護を展開する会社に入職しました。

新しい職場は書類管理や売上状況が厳しく、経営が危機的な状態でした。外部営業に出ながら業務を外部委託で整え、約1年で事業を立て直すことに成功しました。営業を通じて建築・不動産など異業種とのつながりも広がり、自身の視野が大きく広がる転機となりました。

2018年からはDX化を進め、居室にQRコードを設置してスマホで介護記録を入力できる仕組みを導入。また、機能訓練が不足していたため、外部委託に頼らず提供できるよう自身がリハビリ関連の資格取得を目指し、サポート体制の構築にも取り組みました。

ケアマネとして居宅介護支援事業所を設立

一人ケアマネとして居宅介護支援事業所を設立されたそうですね

訪問マッサージ会社の知人から「空き部屋を事務所として使っている」と提案を受け、賃料負担なく運営できることが決め手となり、同社名義を借りて一人ケアマネとして居宅介護支援事業所を立ち上げました。ケアプラン作成からレセプト、利用者対応まで任され、事業は順調に成長し、最終的にはケアマネを3名雇用するまでに拡大しました。

しかし、「ケアマネの働きに対して給与が見合わない」という

構造的課題に直面し、事業拡大の限界を感じて悩んでいた頃、デイサービスを運営する後輩から訪問看護部門の協力依頼を受けました。相談の結果、後輩の会社が居宅を引き継ぎ、私は訪問看護とケアマネの両方に関わる形で働き方を転換。経営会議にも参加し、営業や売上管理にも深く関わるようになりました。

議論を重ねる中で再び独立への思いが高まり、メンバーから「会社員のまま会社を設立する方法もある」と助言を受けました。ちょうどその頃、中学校時代の同級生から「海外で障害者支援施設をつくる」ビジネス相談を受け、まず国内で実績を積むべきと助言。国内事業として協業する流れになりました。事業立ち上げ経験を活かせると考え、役員として参画することを決意し、2020年7月にArC株式会社が設立されました。



葛飾区・松戸市・流山市で複合型介護サービスを展開するArC株式会社

ArC株式会社のネーミング、そして理念について教えてください。

当初は共同経営のような形で3名のメンバーがいたのですが、そのうちの1名が本業や家庭の都合により、参画を辞退したため、最終的に私を含めた役員2名で会社が始動しました....



続きはQRコードからアクセスしてください → → →